

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 31 日作成)

委員会名	住宅水環境性能小委員会	主 査 名：大塚雅之
所属本委員会 (所属運営委員会)	水環境委員会	委員長名：浅野良晴
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	住宅の水廻りの環境性能評価手法を提案することを目的としたもので、台所、洗濯・洗面所、トイレ、浴室などの空間を 8 つの評価軸を設定して評価することを検討した。また、性能チェックシートの作成を行う。	
委員構成 (委員名(所属))	大塚雅之(関東学院大学),加藤正宜((財)ベタ-リビング),小池道広((株)長谷工コーポレーション),岩田秀明(東陶機器(株)),一色貴子((株)管配),鎌田元康(東京大学),倉田丈司((株)INAX),小瀬博之(東洋大学),塩将一(積水化学工業(株)),高橋紀行((株)竹中工務店),西本賢二(東京大学生産技術研究所),岡本友明(都市再生機構),宮崎剛(サンウエ-ブ工業(株))	
設置 WG (WG 名:目的)	住宅の水廻りの給排水衛生設備機器、水廻り空間を含めた環境性能評価を行うことを目的とした。	
2004 年度予算	45,000	円

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	委員会開催総数 17 回(2003 年度 8 回、2004 年度 9 回)行い、各回平均で 7 名程度の参加者があった。また、参加できない委員からは資料等の提出を頂いた。
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>先に実施した関連委員会で指摘されたのは、評価軸、評価項目の見直しであったのでその点を中心に見直し、以下の成果を得た。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 審議の結果、評価軸はそのままとし、修正した評価項目と重要度、品質項目などに関する調査シートを作成した。 2) 1) に関しては、トイレ、浴室、洗面所・洗濯場、台所などについても作成した。 3) 特にトイレ、浴室、台所に関しては、学識経験者、主婦、学生などを対象にアンケート調査を実施し、評価軸の重みづけ、評価項目でのばらつきなどについても集計して考察した。 4) 1) ~ 3) を総括して、住宅水環境性能評価シートを作成し評価法に替えた。 5) 以上は委員会報告書の形でまとめておく。 <p>委員会 HP アドレス：</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>水環境性能評価の項目の見直しが当面の目標であり、それに関しては新たな評価項目を提案できた。また、各水廻り空間ごとに評価項目シートの提案できたので調査法の提案そのものはおおそ完成したと見なせる。今後は、メンバーの主力で内容を見なおす予定である</p>
その他評価すべき事項	少し内容を検討して、簡易な評価法に関する出版を行うための検討を行う予定である。